

地域課題の解決と新たな価値の創造へ

成長と豊かさをつなぐ3つの視点で四国の未来をともに描く

人口減少・担い手不足



- ・若者の地域離れ
- ・働き手の確保難
- ・地域産業の担い手不足

自然資源の価値の低下



- ・森里川海のつながり低下
- ・生物多様性の損失
- ・自然の恵みや価値の十分な活用不足

地域内の経済循環



- ・地域での消費減少
- ・地域外への支出増加
- ・投資・雇用機会の減少

気候変動・災害リスク



- ・豪雨災害の激化
- ・猛暑・渇水の深刻化
- ・南海トラフ地震のリスク

四国が直面する地域課題



それぞれの強みを持ち寄り連携することで
単独では解決できない地域課題の解決に挑みます



具体的な取組：地域で連携して進める3つの視点

資源循環 Circular Economy

- ・ごみの削減
- ・資源の循環利用
- ・地域資源の活用 等



脱炭素 Net Zero

- ・温室効果ガス排出量の削減
- ・再生可能エネルギーの導入
- ・省エネルギーの推進 等



自然再興 Nature Positive

- ・生物多様性の保全
- ・自然資本の回復
- ・森里川海のつながり強化 等



地域産業

地域資源を活かした
産業・事業を創出し
地域に還元する

自然資本

地域の自然資源を守り
次世代に繋ぐ

地域 コミュニティ

多様な人が関わり
支え合いながら
暮らしを守る

ローカルSDGs四国の目指す姿

地域資源を活かしながら
環境・経済・社会問題を統合的に解決し
自立分散型で持続可能な地域を作る



自然の恵みを持続的に活用し
次世代へつなぐ



地域の強みを活かし、
経済を活性化する



主体を超えて繋がり、誰もが
安心して暮らせる地域を作る



イノベーションで
四国の未来を切り拓く

ローカルSDGs四国ネットワーキング会 (10/21 13:00~16:30 @レクザムホール)



出会う

さまざまな立場の人が集まり
知り合う
お互いの理解を深める



つながる

対話を通じて
信頼関係と協力の基盤を築く



共創する

アイデアや資源を持ち寄り
新しい価値を共につくる

こんなお悩みありませんか？

自治体職員の皆さま

- ✓ ごみを減らし
地域の資源循環を進めたい
- ✓ 海や森林の自然資本を活かした
取組を進めたい
- ✓ 地域の脱炭素を進めたい
- ✓ 地域エネルギーや防災力向上に
関心がある
- ✓ 官民連携の
地域活性化を進めたい



森林活用・Jクレジット・ブルーカーボン・
GX・再エネ・リサイクル等の
実践事例や企業との出会いがあります

企業の皆さま

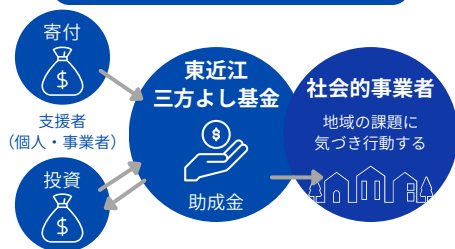
- ✓ 自社技術を地域課題解決に
活かしたい
- ✓ GX・脱炭素の事業機会を探している
- ✓ 資源循環型ビジネスの
ヒントが欲しい
- ✓ 自治体との連携を進めたい
- ✓ 共創できる仲間を探している



自治体・大学・支援機関とのネットワーク
づくりに加え、業種や分野を超えた企業同士
の新たな連携のきっかけづくりができます

他の地域ではこんな連携が生まれています

CASE 1：滋賀県東近江市



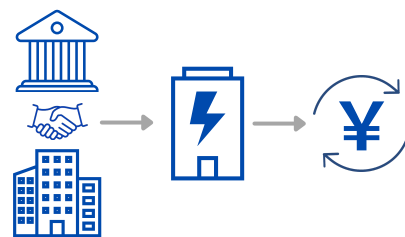
地域の金融機関、事業者、NPO、行政等が参加した「東近江三方よし基金」を設立。基金では、地域課題の解決と地域資源を活用した地域活性化を推進するためのコミュニティビジネス等の支援を行う。

CASE 2：兵庫県豊岡市



市民、農家、企業、大学、NPO等が連携し、コウノトリの野生復帰を支える環境創造型農業や湿地再生を推進。あわせてエコツーリズムや環境教育を展開し、生物多様性の保全と地域活性化を両立する。

CASE 3：鳥取県米子市



米子市と地元企業5社が共同出資して設立した「ローカルエナジー株式会社」を中心に、再生可能エネルギーの地産地消を推進。電力事業の収益を地域に循環させ、地域経済の活性化と脱炭素化につなげている。



新たな出会いが地域の未来をつくる

企業・自治体・金融機関・支援機関等さまざまな主体がつながり、
地域課題解決に向けた新たな連携や共創が生まれます。

